

※キャビネット内奥がヒナ壇状の場合の施工手順

① 下準備

- (1) 食洗機を設置する側のシンク下扉、ヒンジ、排水トラップを取り外す。
.....【図1】
- (2) 作業効率上障害となるようであれば、反対側のシンク下扉も外す。

【注意】

- 事前にヒナ壇の内部に配管がないことを確認してください。配管が通っている場合は施工できません。
- 切断にあたっては、他の部分を傷つけないよう、細心の注意を払って行なってください。

② ヒナ壇の切断

- (1) 食洗機設置部にあたるヒナ壇を、幅450mmにわたって切断する。
.....【図1】

お願い

- ヒナ壇の切断については、その必要性を必ず事前にお客様に説明し、ご了解を得た上で施工してください。

③ 切断面の処理

- (1) ヒナ壇切断面、背面、底部、それぞれの開口部を次のいずれかの方法でふさぐ。

☆ 栈木を使用する場合

1. ヒナ壇切断面に栈木を合わせて固定。
底部は15mmの板厚分を逃して栈木を固定する。
2. 開口部の寸法に合わせて15mm厚の化粧ボードを切断し栈木にビス等で固定する。
3. 背面部は後ろ壁面に栈木を取り付け、化粧ボードで養生する。

☆ 補強台(現場制作)を使用する場合

1. 開口部寸法を現場で採寸し、15mm化粧ボードを使って図3のように、補強台を制作する。
2. キャビネット開口部に補強台をセットし、ビスで固定する。

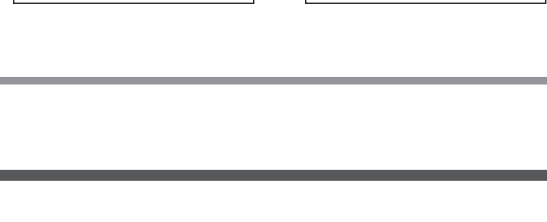
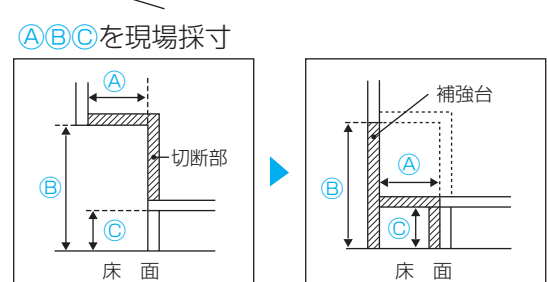
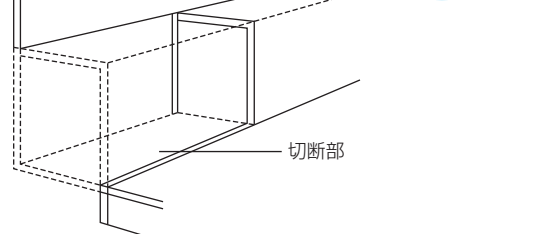
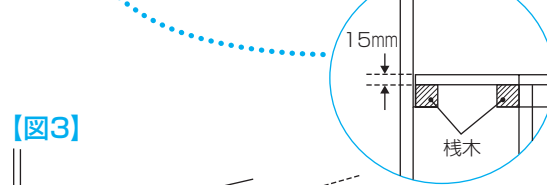
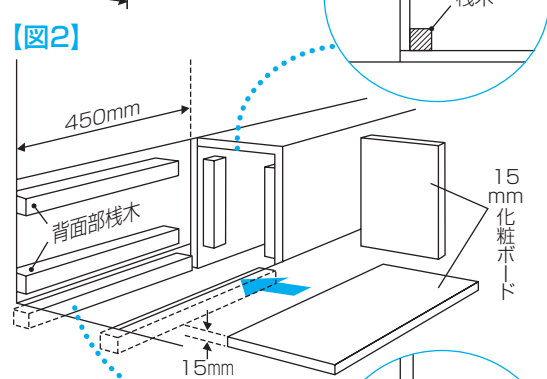
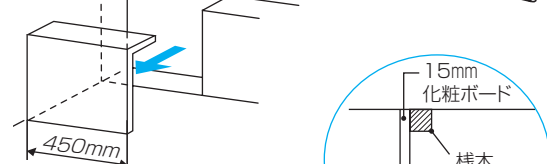
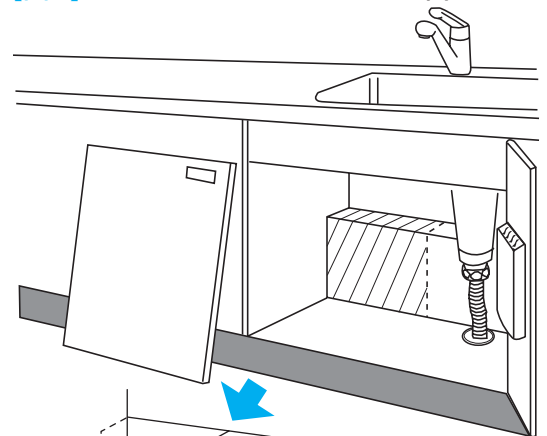
- (2) それぞれの処理部に隙間が生じた場合は、シリコン等でコーキングしておく。

④ N-KH450S/Kの取り付けおよび給排水工事

- 「標準施工例」の2～14にしたがって、各部材の取り付け、給排水工事を行う。

【図1】

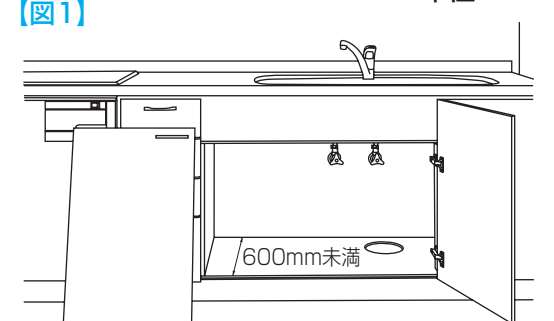
単位：mm



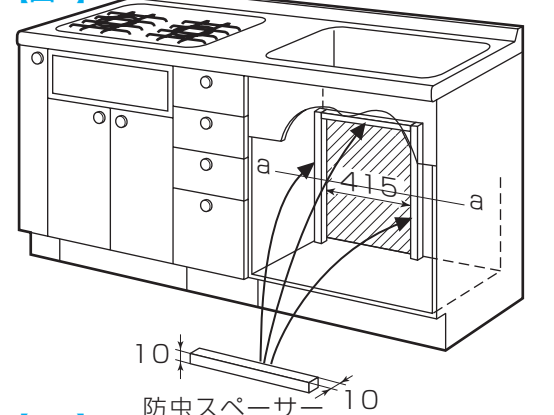
※奥行不足の場合の施工手順(背板を切断する場合)

【図1】

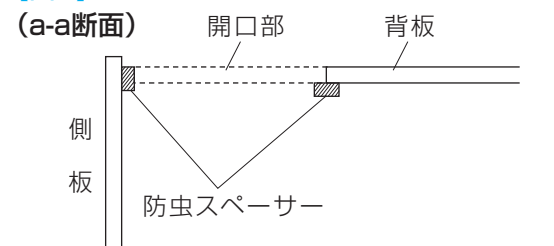
単位：mm



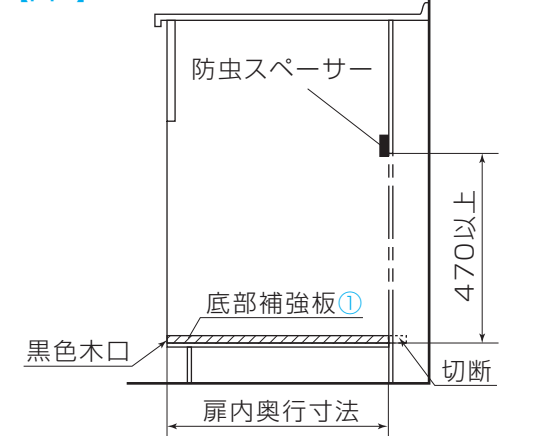
【図2】



【図3】



【図4】



①シンク下扉、ヒンジ、排水トラップの撤去

- (1) 食洗機を設置する側のシンク下扉、ヒンジ、排水トラップを取り外す。
.....【図1】
- (2) 必要なら、反対側のシンク下扉も外す。

②キッチン背板の切断

- キッチンの背板を幅415mm、高さ470mmの範囲で切断する。
.....【図2】【図3】

お願い

- あらかじめお客様に理由を説明し、ご了解を得た上で切断してください。
- 切断範囲に背面補強材がある場合、切断後、代替補強工事を行ってください。
- 必要に応じて開口部を防虫スペーサー(現地調達)で処理してください。
(例：左図に示す3箇所に防虫スペーサーを粘着テープで貼り付ける)

③N-KH450S/K(シンク下設置部材キット)の取り付けおよび給排水工事

- 「標準施工例」の2～14にしたがって、各部材の取り付け、給排水工事を行う。

お願い

- 底部補強板①は左図のように黒色木口の反対側を切断してください。
.....【図4】
- 切断した背板と食洗機との間にすき間がある場合は、防虫スペーサーを追加してふさいでください。